

新潟県教育委員会 様

奨学のための給付金 受給申請書

次の6点を確認の上、□に✓を付けてください。

☐	① この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。 ② この申請書に虚偽の記載があった場合は、新潟県教育委員会の求めに従いその金額を即時返還します。 ③ 私は新潟県以外の都道府県に奨学のための給付金の申請は行っておりません。 ④ この申請の対象となる高校生等は児童福祉法による児童入所施設措置費(見学旅行費又は特別育成費(母子生活支援施設の高校生等を除く))の支弁対象ではありません。 ⑤ この申請の審査に必要な事項について、新潟県教育委員会が学校、市町村及び福祉事務所に照会する場合があることを了承します。 ⑥ この申請の対象となる高校生等が新潟県内の公立高等学校等に在学する場合、この申請の審査に必要な事項について、新潟県教育委員会が高校生等にかかる高等学校等就学支援金等(※)の申請又は届出等書類の記載内容及び認定結果を利用することに同意します。 ※ 高等学校等就学支援金等に含まれる事業 ア 高等学校等就学支援金、イ 高等学校等修学支援事業費補助金(高校生等・新修学支援)、 ウ 高等学校等修学支援事業費補助金(学び直しへの支援)
--------------------------	--

「新潟県奨学のための給付金」の受給について申請します。

【1. 申請者(保護者等)】 【申請内容はすべて 令和8年7月1日現在の状況を記載してください】

ふりがな		対象となる 高校生等 との関係	親権者・主たる生計維持者・ 未成年後見人・ 未成年後見人である里親・生徒本人・ その他()
申請者 氏名	※口座(授業料等・諸会費振替口座)名と同じ ※保護者等が存在しない場合のみ生徒本人となる		
申請者 住所	〒 ー	電話番号	※日中、保護者等の方と連絡が取れる番号

【2. 対象となる高校生等(生徒)】

ふりがな		生年月日	年 月 日生
生徒氏名			
在学する 学校	学校名	国立・県立・市立	学 校 年
	学校の種類	高等学校・中等教育学校(後期課程)・高等学校等専攻科 高等専門学校(1～3学年)・専修学校・各種学校	課 程 全日制・定時制・通信制
	在学期間	令和 年 月 日 ～	

過去の高等学校等 における在学期間	学校名	立	学校の種類・課程	年 月 日 ～ 年 月 日	過去に在学中に給付金を受給した回数 なし 1回 2回 3回 4回 不明 □ □ □ □ □ □
----------------------	-----	---	----------	---------------------	---

【3. 給付先口座】

次のいずれかの□に必ず✓を付けてください。

☐	(新潟県立高校(全日制・定時制)の生徒は、原則こちらに☑) 授業料等・諸会費の振替口座に振込を希望します。	※給付先口座名義人が申請者になります。
☐	(新潟県立高校(通信制)、新潟市立高等学校等、国立高等専門学校、県外公立高校の生徒、又は授業料等諸会費の振替口座を指定していない生徒は、こちらに☑) 振込口座登録申込書(様式第3号)の口座に振込を希望します。	⇒振込口座登録申込書(様式第3号)の提出が必要です。(県立高校(全日制・定時制)は学校事務室で受け取ってください。)

※2ページ、3ページにも記載してください

◆センター記入欄

日付	区分	通信制以外 ・ 通信制	生業扶助 (Ⅰ)	非課税 (Ⅱ)	270～380万円 (Ⅲ)	380～490万円 (Ⅳ)	生徒 コード	
判定	支給	支給決定額(前倒し含む総額)	不支給	[理由] 海外・資格無・回数超過・課税有 その他()	前倒し 支給	有 ・ 無	前倒し支給決定額	

【4. 生活保護の受給状況】

次のいずれか該当する□に必ず✓を付けてください。

必ずチェック	☐	私の世帯は、認定基準日(7月1日)現在において <u>生活保護(生業扶助)</u> を受給しています。 ➡6へ進む
	☐	私の世帯は、認定基準日(7月1日)現在において <u>生活保護(生業扶助)</u> を受給していません。 ➡5以降すべて記入

【5. 保護者等の収入の状況】 ※基準日(令和8年7月1日)現在の状況を記載してください

次の者の個人番号カードの写し等を提出します。(該当する□に✓を付けてください。)

基準日時点 (18歳未満) で生徒が未成年	①	☐	親権者(両親) 2名分 ・離婚で共同親権の場合も含む
	②	☐	親権者 1名分 ・離婚、死別、未婚等で1名の場合 ・ドメスティックバイオレンスや養育放棄、失踪等の家庭の事情によりやむを得ず、1人の個人番号カードの写し等を提出できない場合 など
	③	☐	未成年後見人()名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合 (未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分。ただし、未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合は、その者を除く。)
基準日時点 又は親権者等 が成人(18歳以上)	④	☐	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者) 2名分 ・生徒が在学中に成人した場合で、成人する前と後で生計を維持する者(両親)に変更がない場合
	⑤	☐	生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者) 1名分 <u>下記の扶養誓約に署名してください</u> ・親権者又は未成年後見人(保護者)が存在しない場合 ・成人しているが、主たる生計維持者(生徒を扶養している者)が存在する場合 など 扶養誓約 「私は認定基準日(7月1日)現在において、申請対象生徒を健康保険法等上扶養している又はそれと同等の関係にあることを誓約します。」 申請者(保護者等)氏名 _____
の場合	⑥	☐	生徒本人 父、母、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合など

保護者等の氏名及び本年の1月1日現在の住民票のある住所地(市区町村)を記入してください。(保護者等が親権者や生計維持者の2名以外の場合は「その他」欄に記入)

生徒との続柄	(ふりがな) 氏 名	令和8年1月1日現在の住民票のある住所地		
	()		都道府県	市区町村
	()		都道府県	市区町村
その他 ()	()		都道府県	市区町村

通信欄

【6. 高校生等の国籍・在留資格・在留期間等】

次のいずれかの該当する□に必ず✓を付けてください。

(1) 高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。

①	☐	日本国	必ずチェック
②	☐	日本国以外	

上記(1)で②「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する□に✓を付けてください。
また、必要事項を記入してください。

(2) 高校生等本人の国籍及び在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。

③	☐	特別永住者					
④	☐	永住者					
⑤	☐	日本人の配偶者等	在留期間(満了日)	(西暦)	年	月	日
⑥	☐	永住者の配偶者等					
⑦	☐	定住者	在留期間(満了日)	(西暦)	年	月	日
			日本国に永住する 意思の有無	☐	はい (あり)	☐	いいえ (なし)
⑧	☐	家族滞在	在留期間(満了日)	(西暦)	年	月	日
			日本国の小学校 の卒業の有無等	☐	卒業した	☐	卒業していない
			小学校名		所在地		都道 府県
			日本国の中学校 の卒業の有無等	☐	卒業した	☐	卒業していない
			中学校名		所在地		都道 府県
			日本国で就労する 意思の有無	☐	はい (あり)	☐	いいえ (なし)
⑨	☐	上記以外の在留資格 (留学等)	在留期間(満了日)	(西暦)	年	月	日

【7. 高校生等の国籍・在留資格・在留期間等の確認書類】

国立又は新潟県外の学校に通う高校生等は、次の①～⑤のいずれかの□に必ず✓を付けて該当する書類を添付してください。

高校生等本人の日本国籍の有無・在留資格・在留期間等の確認のため、以下のとおり申請します。

①	☐	「住民票の写し(市町村の発行したもの。原本。コピー不可。)」を添付します。 ※国籍が「日本国」以外の生徒の場合、国籍・在留資格・在留期間等が記載されたもの。
②	☐	「特別永住者証明書の写し(コピー)」を添付します。
③	☐	「在留カードの写し(コピー)」を添付します。

在留資格が「家族滞在」であって、下記のすべてに該当する場合は、④⑤の□に✓を付けてください

・6(2)⑧で「日本国の小学校及び中学校を卒業した」に✓を付けた ・6(2)⑧で「日本で就労する意思がある」に✓を付けた		
④	☐	「日本国の小学校の卒業証書の写し(コピー)」又は「卒業証明書」を添付します。
⑤	☐	「日本国の中学校の卒業証書の写し(コピー)」又は「卒業証明書」を添付します。